

## 2019 年度 事業報告書

### I. 事業状況

財団設立後、4年目を迎え、今期は「学術」「芸術」「スポーツ」「人的交流」及び「助成」の事業に分類し、新たな事業を加えて、日本とドイツ両国の学術及び文化の交流事業活動を行った。

以下に事業活動の概要を報告する。

#### 1. 事業活動の概要

##### 【学術事業】

##### (1) 「山岡記念財団 第4回 科学技術講演会」〔延期〕

2020年3月19日(木)に京都大学国際科学イノベーション棟にて「持続可能な社会に向けた食と農業のありかた」ー地球温暖化が植物に与える影響ーをテーマに開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響に鑑み、延期した。

##### (2) 「山岡記念財団 日独の若者文化・ライフスタイルの研究事業」

##### 第4回 若者文化シンポジウム ー研究助成成果発表会ー

1) 開催日時: 2020年2月19日(水) 14:00~17:00

2) 場所: 京都大学 文学部校舎2階 第3講義室

3) テーマ: 越境するカルチャー ~日本とドイツ~

4) 研究者: ・ティモ・テーレン氏(金沢大学国際学類講師)

研究テーマ: 「漫画とアニメの影響を受けた日本の若者ドイツ体験」

・林 祐一郎氏(京都大学大学院西洋史専修修士課程)

研究テーマ: 「現代日本のマンガにおける中近世ドイツ表象」

・高橋かおり氏(立教大学社会情報教育研究センター助教)

研究テーマ: 「ベルリン在住 日本人アーティストの活動ー定住と移動のはざまで」

・ステファン・ブリュックナー氏

(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科博士課程)

研究テーマ: 「異文化間における日本ゲームの受容: 日・独プレイヤーの体験比較」

・富永京子氏(立命館大学産業社会学部准教授)

研究テーマ: 「日独の若者におけるライフスタイルを通じた政治と社会運動」

パネリスト： 中谷勇哉氏（京都大学大学院 人間・環境学研究科）  
河原優子氏（京都大学文学研究科社会学専攻）  
中村徳仁氏（京都大学大学院 人間・環境学研究科）  
梅田拓也氏（東京大学学際情報学府博士課程）  
司会進行： 吉田 純氏（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）  
田野大輔氏（甲南大学文学部教授）  
ビヨーン＝オーレ・カム氏（京都大学文学研究科講師）

5) 参加者： 55名

6) 主催： 一般財団法人 山岡記念財団

後援： ドイツ連邦共和国総領事館、  
ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都  
一般社団法人大阪日独協会、ヤンマー株式会社

共催： 京都大学大学院人間・環境学研究科 学際教育研究部

#### 《実施内容》

日独に関する漫画、アニメ、ゲームから、アーティストの活動実態や社会運動まで幅広いテーマの発表があり、シンポジウムから交流会まで、発表者と聴衆の境なく活発な意見交換が行われた。

#### ●次年度研究助成の公募と選考

2020年度の日独の研究者による若者文化・ライフスタイルの研究調査の助成のため、研究テーマの公募を行い、当財団の諮問委員により選考が行われた。結果、4件の助成研究テーマが選ばれ、採択者（日・独から各2名）には、若者文化シンポジウムにて次年度助成採択通知書の授与が行われた。

1) 公募：2019年9月～2020年1月24日 日独応募者

2) 選考：2020年2月6日

3) 研究助成：①「青少年言語とインターネット：日本とドイツのソーシャル  
採択 ルメディア（ツイッター）における新右翼的傾向」

Tamara Fuchs 氏

〔フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン  
＝ニュルンベルク、日本学講座（日本近現代）、  
（研究助手）〕

②「日本の若者が持つ農村地域の認識にボランティア活動  
が与える影響について」

Theresa Christina Sieland 氏

〔ハインリッヒハイネ大学デュッセルドルフ、  
近代日本研究所、博士課程学生〕

③「ゲーム言説を通じた日独間の若者文化の比較」

井上明人氏（立命館大学 映像学部 専任講師）

④「審美生に関わる日独若者の文化間比較」

：俳句の曖昧性の観点から

櫃割仁平氏（京都大学大学院教育学研究科

・博士前期課程学生）

【芸術事業】

(1)－1「山岡記念財団 第3回 中高校吹奏楽公開レッスン&コンサート」  
(尼崎市)

1) 開催日時： 2019年9月21日(土) 14:00～

2) 場所： あましんアルカイクホール

3) テーマ： ドイツ音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう！

4) 出演者： 指揮者 大植英次

(第1部)

尼崎市立小田北中学校・成良中学校吹奏楽部

尼崎市立尼崎双星高等学校吹奏楽部

(第2部)

尼崎市立小田中学校・立花中学校吹奏楽部

尼崎市立尼崎高等学校吹奏楽部

<支援参加>

大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー他

5) 演奏曲： 第1部 中学・高校吹奏楽部合同レッスンコンサート

歌劇「さまよえるオランダ人」序曲

— リヒャルト・ワーグナー

第2部 中学・高校吹奏楽部合同レッスンコンサート

歌劇「リエッツィ」序曲

— リヒャルト・ワーグナー

6) 入場者数： 1,300名

7) 主催： 一般財団法人 山岡記念財団、尼崎市、尼崎市教育委員会

共催： 公益財団法人 尼崎市文化振興財団

後援： ドイツ連邦共和国総領事館、

ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都、

一般社団法人大阪日独協会、

兵庫県吹奏楽連盟、尼崎市吹奏楽連盟、

ヤンマー株式会社

(1)ー2「山岡記念財団 第2回 中高校吹奏楽公開レッスン&コンサート」  
(長浜市)

- 1) 開催日時： 2019年9月23日(月・祝)13:00～
- 2) 場 所： 浅井文化ホール
- 3) テーマ： ドイツ音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう！
- 4) 出演者： 指揮者 大植英次  
(第1部)  
長浜市立西中学校・虎姫中学校・高月中学校吹奏楽部  
(第2部)  
滋賀県立長浜北高等学校・虎姫高等学校吹奏楽部  
<支援参加>  
大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー他
- 5) 演奏曲： 第1部 中学校吹奏楽部合同レッスンコンサート  
楽劇「ローエングリン」よりエルザの大聖堂への行進  
— リヒャルト・ワーグナー  
第2部 高等学校吹奏楽部合同レッスンコンサート  
歌劇「ヘンゼルとグレーテル」第二幕  
— エンゲルベルト・フンパーディンク
- 6) 入場者数： 520名
- 7) 主 催： 一般財団法人 山岡記念財団  
共 催： 長浜市・長浜市教育委員会  
後 援： ドイツ連邦共和国総領事館、  
ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都、  
一般社団法人大阪日独協会、  
滋賀県吹奏楽連盟、中部日本吹奏楽連盟滋賀県支部  
ヤンマー株式会社

《実施内容》

「中学・高校吹奏楽部公開レッスン&コンサート(尼崎・長浜)」  
ドイツから世界的指揮者の大植英次氏をお迎えし、「ドイツ音楽を通して音楽の奥深さ素晴らしさを分かち合おう！」をモットーに、ドイツの有名な作曲家リヒャルト・ワーグナー、そしてエンゲルベルト・フンパーディンクの曲を取り上げた。いずれのコンサートも初めに生徒の皆さんが、マエストロ大植指揮者から45分間のレッスンを受け、その後、本番の演奏を行うというプログラムであった。今年はレッスン・本番とも大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー他の先生方にも演奏にご参加いただき、演奏法や表現法の指導を受けた。本番では、曲に対する思いや演奏する楽しさが体の中から込み上げる様に、美しく、また幅広い音色の素晴らしい演奏を披露した。

(2)－1 「山岡記念財団 ハウスコンサート」大阪公演

～ドイツで学んだ若き音楽家の調べ～

1) 開催日時： 2020年1月22日(水) 18:30～19:30

2) 場所： ヤンマー本社12階 Premium Marche OSAKA

3) 演奏曲と演奏者

・ J. S. バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より「シャコンヌ」

(演奏者) 上野明子さん (ヴァイオリン)

・ L. v. ベートーヴェン

弦楽三重奏曲 第4番 ハ短調 作品9の3 第1楽章・第2楽章

(演奏者) 添田みちるさん (ヴァイオリン)、朴梨恵さん (ヴァイオリン)、  
丹羽あいりさん (チェロ)

・ ウジェーヌ・イザイ

無伴奏ヴァイオリンソナタ 第2番 イ短調 作品27

(演奏者) 上野明子さん (ヴァイオリン)

・ エルストン・フォン・ドホナーニ

弦楽三重奏のためのセレナード ハ長調 作品10 第1楽章・第2楽章・第5楽章

(演奏者) 添田みちるさん (ヴァイオリン)、朴梨恵さん (ヴァイオリン)、  
丹羽あいりさん (チェロ)

4) 主催：一般財団法人 山岡記念財団

協力・運営：アイデア・ミュージック・アカデミー、ヤンマー株式会社

(2)－2 「山岡記念財団 ハウスコンサート」東京公演

～ドイツで学んだ若き音楽家の調べ～

1) 開催日時： 2020年1月24日(金) 19:00～20:15

2) 場所： MUSICASA (ムジカーサ)

3) 演奏曲と演奏者

・ L. v. ベートーヴェン

ピアノソナタ第23番 ヘ短調 作品57 「熱情」

(演奏者) 栗田奈々子さん (ピアノ)

・ L. v. ベートーヴェン

ヴァイオリンソナタ第1番 ニ長調 作品12の1

(演奏者) 上野明子さん (ヴァイオリン)、栗田奈々子さん (ピアノ)

・ W. A. モーツァルト

ピアノ協奏曲 23番 第1楽章・第3楽章

(演奏者) 鈴木孝佳さん (ピアノ)、添田みちるさん (ヴァイオリン)、

朴梨恵さん（ドイツ）、丹羽あいり（ドイツ）

4) 主催：一般財団法人 山岡記念財団

協力・運営：アイデア・ミュージック・アカデミー、ヤンマー株式会社

《実施内容》

クラシック音楽の本場ドイツで研鑽を積んだ将来が嘱望される若き演奏者の皆さんを招き、賛助会員の皆様、ヤンマーグループ社員をはじめ、日ごろ財団を支援いただいている方々を対象としたプライベートコンサートを開催し、若手音楽家の方々が奏でる美しい音色に耳を傾けた。演奏会のあとには演奏者と聴衆の皆様との交流会も開催し、相互交流を深めた。

【人的交流事業】

(1) 尼崎市・長浜市とアウグスブルク市 姉妹都市締結 60 周年記念式典

1) 開催日： 2019 年 5 月 10 日（金）～5 月 11 日（土）

2) 場 所： ドイツ・アウグスブルク市庁舎 黄金の間

3) 出席者： アウグスブルク市長 クルト・グリーブル氏、  
尼崎市長 稲村和美氏、長浜市長 藤井勇治氏、  
ヤンマー株式会社 代表取締役社長 山岡健人氏、  
一般財団法人 山岡記念財団 常務理事 雪野弘泰氏、  
（指揮者）大植英次氏、（指揮者）末岡修一郎氏、  
アウグスブルク 聖ステファン高等学校、  
尼崎市立尼崎高等学校・尼崎市立双星高等学校吹奏楽部、  
アウグスブルク市・尼崎市・ヤンマー株式会社・  
一般財団法人 山岡記念財団 関係者 他

《実施内容》

第 1 日目は、ヤンマー創業者、山岡孫吉翁のディーゼル博士記念石庭寄贈が縁で尼崎市・長浜市とアウグスブルク市との姉妹都市締結が結ばれ、60 周年の記念式典がアウグスブルク市庁舎（黄金の間）にて盛大に開催された。

また、使節団一行は、記念事業の一環として、MAN 社ミュージアム、同社研修センター並びにディーゼル博士記念石庭を訪問し、尼崎市・長浜市とアウグスブルク市及びヤンマーとの長い友好の歴史を振り返った。

第 2 日目は、尼崎市とアウグスブルク市の高校生による合同吹奏楽団が、ドイツ在住の世界的な指揮者である大植英次氏とともに多くのアウグスブルク市民が見守るなか、公開レッスンコンサートが開催された。

(2) 第 3 回 賛助会員年次総会

1) 開催日： 2019 年 6 月 5 日（水）

2) 場 所： ヒルトン大阪

3) 参加者： 176 名

#### 《実施内容》

賛助会員の企業と個人会員の皆様に、山岡記念財団の設立の趣旨や目的を改めて紹介するとともに、一年間の事業活動を説明することにより、財団の活動に対する理解を深めて頂いた。また、ドイツからバイエルン公ルイポルト殿下を招き、「ドイツビールの歴史」をテーマに講演が行われた。懇親会では、大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーによるドイツ音楽の演奏のもと、賛助会員の交流を深めた。

#### 【スポーツ事業】

・活動目的の1つとして掲げている【日本とドイツの若者の文化交流】の新たな取り組みとして、今年度よりスポーツ事業を立ち上げた。

##### (1) セレッソ大阪ユースとFCアウグスブルクユース親善試合

1) 開催日 : 2019年8月13日(火)

2) 場 所 : FCアウグスブルクユース・トレーニングセンター

#### 《実施内容》

尼崎市・長浜市とアウグスブルク市の姉妹都市締結60周年事業の一環として、ドイツ・ブンデスリーガ1部のFCアウグスブルクユース(U17&U19)とセレッソ大阪ユース(U17)の親善試合を開催し、試合を含め選手達は国境を越えた同世代の交流を深めることができた。また、セレッソ大阪ユースのメンバーは、尼崎市・長浜市とアウグスブルク市の姉妹都市提携の親善大使としての役割を果たすと同時にヤンマーとアウグスブルクの交流の歴史についても学んだ。

#### 【助成事業】

・本年度は、当財団の支援を希望された下記の事業に支援、協賛を行った。  
支援、協賛事業は以下の通り。

##### (1) J・S バッハライブツィヒ音楽学校ユースオーケストラ支援

事業名：ライブツィヒ・ユース シンフォニーオーケストラ日本公演

(実施内容)

ライブツィヒ・ユースシンフォニーオーケストラは、14歳から20歳で構成されるドイツでもトップクラスのユースオーケストラであり、総勢70名の演奏者が7月に初来日、下記の通り、3都市で地元のユースオーケストラと合同で、満席の観客のもとコンサートが開催された。

##### 1) 日本×ドイツ親善交流演奏会

開催日：2019年7月13日(土)

場 所：文京シビックホール 大ホール

- 主 催：文京区、学校法人三室戸学園 東邦音楽大学
- 2) オーケストラフェスティバル in 鹿沼  
開催日：2019年7月15日（月・祝）  
場 所：鹿沼市民文化ホール 大ホール  
主 催：鹿沼市、鹿沼市教育委員会、（公財）かぬま文化・スポーツ振興財団
- 3) ライプツィヒ・ユース シンフォニーオーケストラ演奏会  
開催日：2019年7月17日（水）  
場 所：京都市北文化会館ホール  
主 催：ムジークシュレ・ライプツィヒ<ヨハン・セバスティアン・バッハ>
- 4) 京都市ジュニアオーケストラ ミュージック・サマー・キャンプ@UKYO  
ーライプツィヒ・ユース オーケストラとの特別共演  
開催日：2019年7月18日（木）  
場 所：京都市右京ふれあい文化会館ホール  
主 催：（公財）京都市音楽芸術文化振興財団、京都市

(2) ベルリン日独センター協賛

- 事業名：日独ヤングリーダーズ・フォーラム 2019  
テーマ：「グローバル化の未来 — 課題とチャンス」  
開催日：2019年9月6日（金）～9月15日（日）  
場 所：サマースクール — 国際文化会館（東京）  
同窓生大会 — 国際連合大学（東京）  
出席者：日本側 8名、ドイツ側 8名

(実施内容)

第14回日独ヤングリーダーズ・フォーラム サマースクールと公開シンポジウムを含む同窓生大会に日本とドイツから将来を担う選抜された各々8名のヤングリーダーズが参加した。サマースクールでは、本年のテーマを専門とする有識者をスピーカーに招き、参加ヤングリーダーズとの間で討議がなされ、ワーキンググループでも活発な意見交換が見られた。また、サマースクールのテーマに合わせて視察訪問プログラム（於、富士通研究所、電通、テュフラインランドジャパン）が実行された。

(3) ゲーテ・インスティトゥート協賛

- 事業名：映画で見る東ドイツの歴史～DEFA 作品上映会  
会 場：シネ・ヌーヴォ（大阪市）  
開催期間：2019年10月5日（土）～11日（金）

(実施内容)

ベルリンの壁が崩壊してから30周年を記念して特集されたDEFAの作品が

大阪のシネ・ヌーヴォで上映された。DEFA は、1946 年、東ドイツに国営の映画製作会社として設立され、国による厳しい管理体制と検閲の下でも話題性と芸術性に優れた作品を数多く生み出した。上映された DEFA 作品には、東ドイツ社会が抱えていた社会主義体制の理想と矛盾、葛藤、そこから派生した民主化運動と東ドイツ末期の状況が如実に映し出されていた。

上映作品は以下の通り。(製作年順)

- ① 『裸で狼の群のなかに—Nackt unter Wölfen—』 1963 年
- ② 『君が大人になったら、アダム—Wenn du groß bist, Lieber Adam』  
1965/1990 年
- ③ 『石の痕跡—Spur der Steine—』 1966 年
- ④ 『45 年生まれ—Jahrgang 45—』 1966/ (1990) 年
- ⑤ 『パウルとパウラの伝説—Die Legende von Paul und Paula—』 1973 年
- ⑥ 『嘘つきヤコブ—Jakob der Lügner—』 1974 年
- ⑦ 『ソロシンガー—Solo Sunny—』 1980 年
- ⑧ 『冬よさようなら—Winter Ade—』 1988 年
- ⑨ 『DEFA アニメーション選集—9 Trickfilme—』 1957~1990 年
- ⑩ 『建築家たち—Die Architekten—』 1990 年
- ⑪ 「Gundermann」 2018 年

#### (4) 尼崎市アーティスト派遣支援

事業名 : 尼崎市とアウグスブルク市とのアーティスト交流

開催期間 : 2019 年 10 月 24 日 (木) ~10 月 27 日 (日)

開催場所 : アウグスブルク市 カルチャーハウス abraxas アブラクサス

派遣者 ; 庄 波希 (振付家・ダンサー・役者) - 尼崎市推薦者

(実施内容)

庄氏が Lab30 で取り組んだ活動は、作品の発表とワークショップであった。作品の内容は、物質ではなく、身体をテーマに創作に取り組み、サーモグラフィカメラを使って温度によって変化する身体をスクリーンに投影させてリアルな身体と対比したパフォーマンスを披露した。また、ワークショップでは、身体表現の精神的な部分にフォーカスした内容で、体を使ったリアル表現の感覚をシェアした。肉体的な技術ではなく、心と体をどう繋げていくか、自分の身体にイメージをどう落とし込んでいくかをテーマにしたワークに取り組んだ。参加者のバレエダンサーとは、ダンスを通して繋がり、一つの空間に全員で絵を描くように溶け込んだ。

## 2. その他活動

### (1) ドイツ若者による日本文化発信

日本講演で貴重な経験をしたライプツィヒ・ユースシンフォニーオーケストラの演奏者に「ドイツから届いた日本の思い出」として、演奏会を終えて感じたこと、日本滞在中の思い出を綴って頂いた。

### (2) 賛助会員募集

2016年12月から募った賛助会員は、2020年3月現在、法人163社、個人41名の計204会員となった。